

福祉だより

かけはし

2020.9.15

第80号

発行 社会福祉法人
川西町社会福祉協議会

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松2918-2
TEL 0238-46-3040
FAX 0238-46-3044

川西町社会福祉協議会ホームページ <http://www5.omn.ne.jp/~kawanishi/>

赤い羽根共同募金 × piapro's

支えあうココロ、
未来へ。

初音ミク
Hatsune Miku
Art by クスノ
© Crypton Future Media, INC. All Rights Reserved.

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いたします。 www.akaihane.or.jp 赤い羽根 検索

Art by クスノ

©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

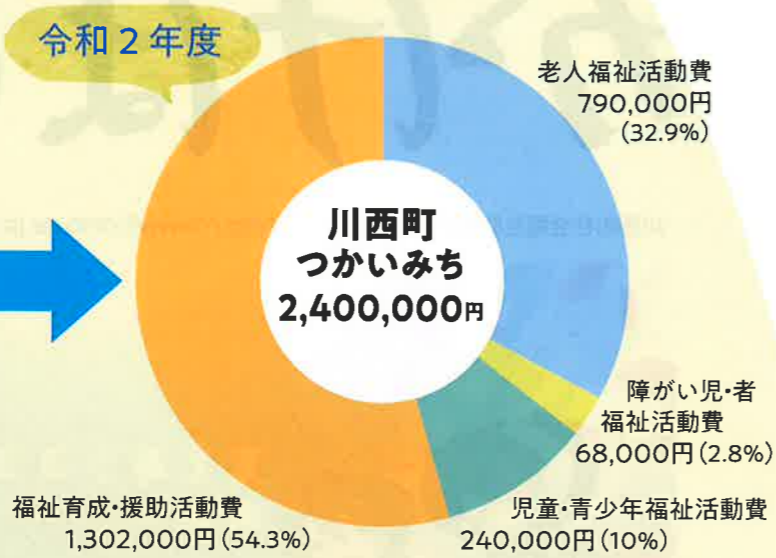
この広報紙は、共同募金の配分金で製作しました。

みなさまから寄せられた募金は、次のように社会福祉施設・団体などに届けられ、令和2年度の事業として、みなさまの地域で役立てられます。

■赤い羽根共同募金目標
3,255,000円

- 川西町社会福祉協議会が実施する地域社会福祉活動事業配分
2,400,000円
- 県内全部の施設や福祉団体の助成金配分
855,000円

全ての募金は、山形県共同募金会に送付され、集約されます。



各地区敬老会への助成

- 各地区で開かれる催し物やお祝い品等

子育て・青少年活動支援

- 子育てサークル、子供会への助成
- 学生ボランティアの育成、福祉教育

ボランティア活動支援

- 各地区ボランティア会の育成
- ボランティア活動活性化事業
- ボランティアサークルの助成(傾聴ボランティア、手話サークル等)

障がい者のための支援

- 障がい者作業所のクリスマス会
- ボランティアとの交流事業

高齢者の自立促進のために

- お父さんの料理教室など

地域福祉や広報

- 各地区推進委員会活動
- 福祉座談会の開催
- 福祉だより「かけはし」の発行

ありがとうございますが届いています

就労継続支援B型事業所 たんぼぼ

たんぼぼでは毎日たくさんの利用者とスタッフで活動しています。作業所では、作業テーブルが不足しており大変困ってました。この度皆さんから寄せられた共同募金で新しく丈夫なテーブルをいただきました。おかげさまで作業がしやすくなり皆で喜んでおります。これからも楽しく仕事をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

山形県立置賜農業高等学校

皆さんからご協力いただいた共同募金の配分金を活用し、置賜農業高等学校では県道の花植などの緑化活動や高齢者宅の除雪ボランティアを行っています。今年もたくさんのきれいな花を植えました。ありがとうございました。

川西町立小松小学校 6学年

皆さんからご協力いただいた共同募金の配分金で、町内の小学校で高齢者の疑似体験などの福祉授業を行っています。小松小学校6学年の児童からありがとうメッセージが届いていますので紹介します。

「先日はお年寄りの人について色々なことを教えて下さりありがとうございました。私は特に腰が曲がるようにして歩く体験が印象に残りました。足がふらふらして歩くことがとても大変でした。なぜお年寄りは腰を曲げて歩いているかが分かりました。また、ヘッドホンを使ってみて普段と比べて周りの音がすごく聞きづらいことが分かりました。この体験を通して、これからはお年寄りの人には優しく接して困っていたら助けるようにしていきたいです。」

「高齢者疑似体験をしてとてもびっくりしました。私は普通に体を動かすことが当たり前だと思っていました。けれどもお年寄りの人からすると当たり前のことではないことが分かりました。体験した中で私は歩く動きや食べる動きが一番大変でした。自分の楽な姿勢は丸くなっている時でした。だからおばあちゃんたちは腰を丸くしているんだなと思いました。高齢者疑似体験をさせていただきありがとうございました。」

歳末たすけあい運動 毎月12月に募金活動が行われています。

いただいた募金は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう「みんなでささえあうあったかい地域づくり」のスローガンのもと、町内で支援を必要としている方々に配分されます。

主な配分先

- 低所得で生活の大変な世帯
- 要介護1以上で常時紙おむつを使用している方
- 低所得世帯の児童・生徒
- 障がい者グループホーム

今年も10月1日より、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。川西町でお寄せいただいた募金の約7割は、川西町内で行われる子供やお年寄り、体の不自由な方の福祉活動などの支援に、役立てられています。残りの約3割は山形県内全域の福祉活動に役立てられています。皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

川西町共同募金委員会 会長 菊地 直

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

川西町共同募金委員会

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松2918-2
TEL : 0238-46-3040 FAX : 0238-46-3044

愛ちゃんと希望くんの共同募金 Q&A



今年も、10月1日から「令和2年度赤い羽根共同募金運動」がスタートします。皆様からお寄せいただいた募金は、地域の一人暮らしや寝たきりの高齢者、体の不自由な人や子どもたちのためなど幅広い福祉事業に活用されています。

しかしながら、「共同募金は、どんな募金？」と改めて考えてみると、よくわからないという方が案外多いのではないのでしょうか。

そこで「共同募金」についてご紹介します。

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

「赤い羽根共同募金は共同募金の愛称です。昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、多くのボランティアの方々の協力のもと毎年10月から12月の期間「共同募金運動」が行われ、今年で74回目を迎えます。

共同募金は「地域福祉の推進」を目的としており、少子高齢化が進む中で、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動や、地域で様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられる募金です。

一人ひとりの町を思うやさしさが、地域で暮らす私たちのつながりを強くし、輪となり広がっていきます。

地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。

都道府県内で集められた募金は、その都道府県内の福祉活動に役立てられています。つまり、山形県で集められた募金は、山形県で使われるということです。

一人暮らしの高齢者を地域で見守る活動や、障がい者が働く事業所への支援、福祉施設への車両整備のほか、福祉活動の担い手となるボランティアの育成や子どもたちへの福祉教育など、赤い羽根共同募金はあなたの街を良くするための様々な取り組みを応援しています。

赤い羽根共同募金は、助成の計画を立ててから募金(寄付)を集めるしくみです。

地域の民間福祉のニーズを把握してから募金活動を行う「計画募金」という方法をとっています。これは他の募金には見られない、共同募金だけの特徴です。

各市町村の福祉の現場からの“町を良くしたい”という思いをもとに、募金活動を行っています。

災害にも赤い羽根共同募金は使われています。

募金額の一部は毎年「災害等準備金」として積み立てられており、災害発生時には、災害被災地で速やかに支援活動が行えるようボランティアセンターの開設・運営のための資金として、また被災した福祉施設の復旧支援に使われます。

※災害等準備金は例外的に都道府県域を超えた被災地支援にも使用されます。じぶんの町にも、もしもの時にも、赤い羽根共同募金は役立てられています。



www.akaihane.or.jp

赤い羽根共同募金

検索

赤い羽根データベース「はねっこ」をご覧ください。あなたのまちの共同募金の使いみちも、もっと詳しくご覧いただけます。

緊急に食料品を必要とする方がいます。提供できる食料品の寄附にご協力下さい。

川西町社会福祉協議会には様々な相談が寄せられるようになりましたが、その中でも「生活費がない」「食べるものがない」という相談が目立ちます。そのため福祉資金と住民の皆様から寄附していただいた食料品を併用しながら支援を行なっています。この支援を継続していくために食料品の寄附にご協力よろしくお願いします。

寄附をしていただきたい食料品

- 米
- 保存食品(乾麺、缶詰、瓶詰め等)
- 乾物
- 調味料
- インスタント食品



寄附をいただく際の注意

- 常温保存が可能なもの
- 賞味期限が2ヶ月間以上あるもの
- 未開封であるもの